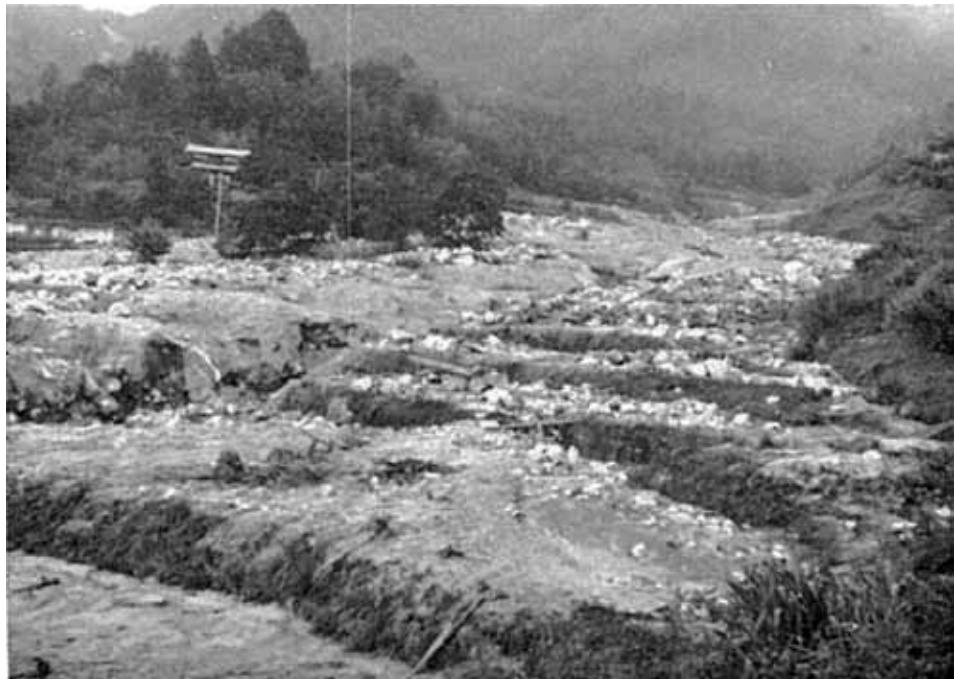


No.	12-1-12	場所	中川村大草北組	次世代への継承キーワード 早期避難
名 称	流木と石に覆われた大谷沢流域			
災 害 現 象	土砂流出	河 川	天竜川	
補 足 事 項	避難行動の直後に土石流発生	支 流	大谷沢	

概 要	中川村では手の施しようの無い、大惨状となった。村内の死者 18 人、負傷者 8 人、流出家屋などの被害 314 戸。農林業や道路・橋などの損害も甚大で、全村の耕地面積の約 36%が流出するという大被害であった。
	<p>●体験談：災害時、中川村大草北組在住（中川東小学校 5 年）</p> <p>&lt;6月28日朝&gt;ぼくと、しょうじ君とで下の道までいって川（注：天竜川の支川）を見ていた。（略）六分もたたなかつと思ったころむこうの県道でだれかおとなのが、「てっぽう水がくるぞー」といった。おとうちゃんが、「早くうちの方へにげろ」といったので、いちもくさんでうちのうらまでにげて来た。おとうちゃんも来た。おとうちゃんがくるとすぐものすごい音をたてててっぽう水がおしよせてきた。「パパーン、パパーン」と竹のはじける音がした。まくろい水。水というよりどろがおしよせて来た。石の音があたりにひびいた。板もいっぱい流れ来た。その時。おはかの後の方にあった高さ 25 メートルと思われるほど大きなけやきの木が「ザ、ザ、ザ、ザ、ザ、ザツ」と川へおちくずれたかと思ったら、川の水に乗って立ったまま流れて来た。</p> <p>（「濁流のあと」p.85）</p>

記 録
-----

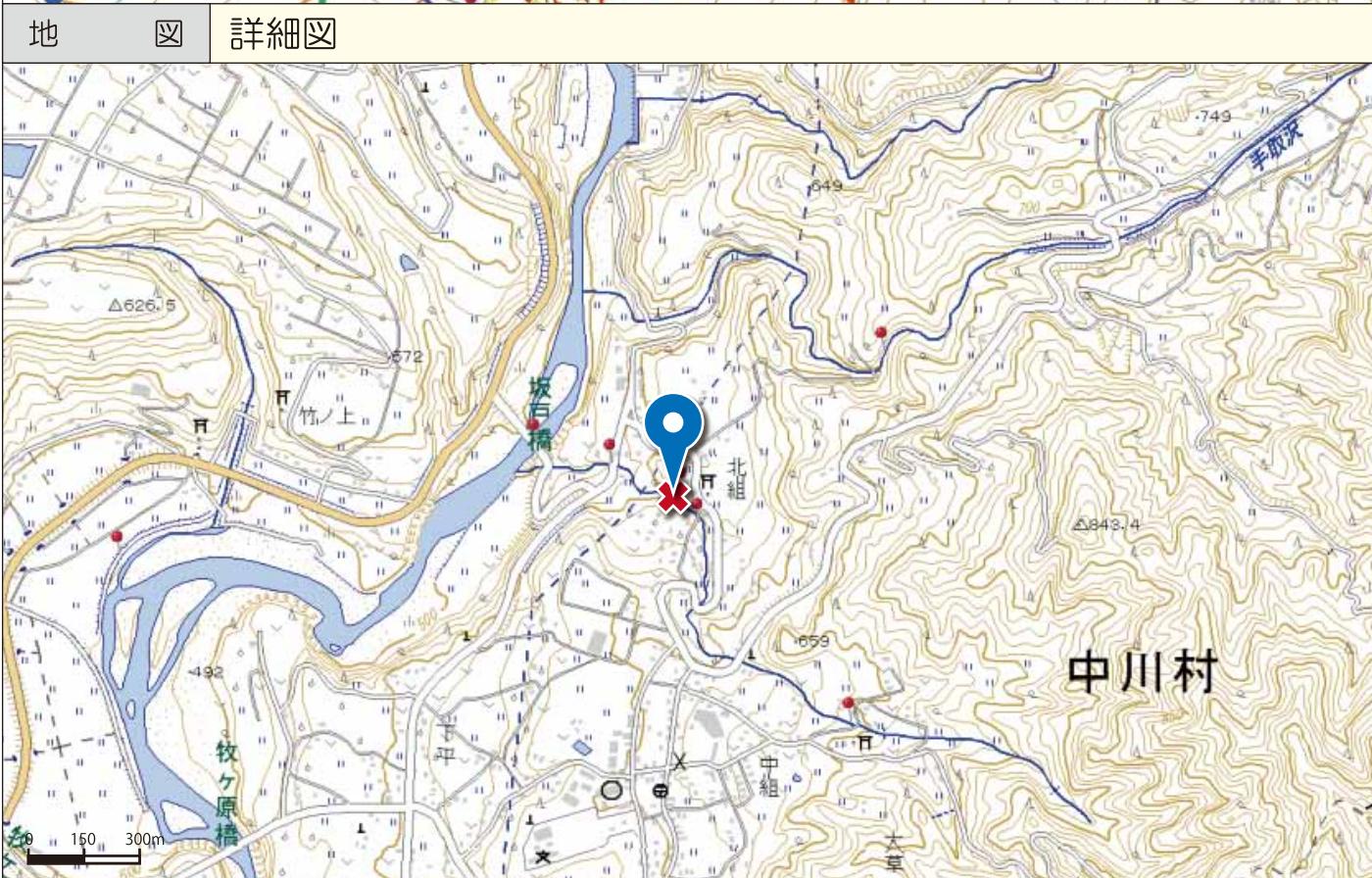
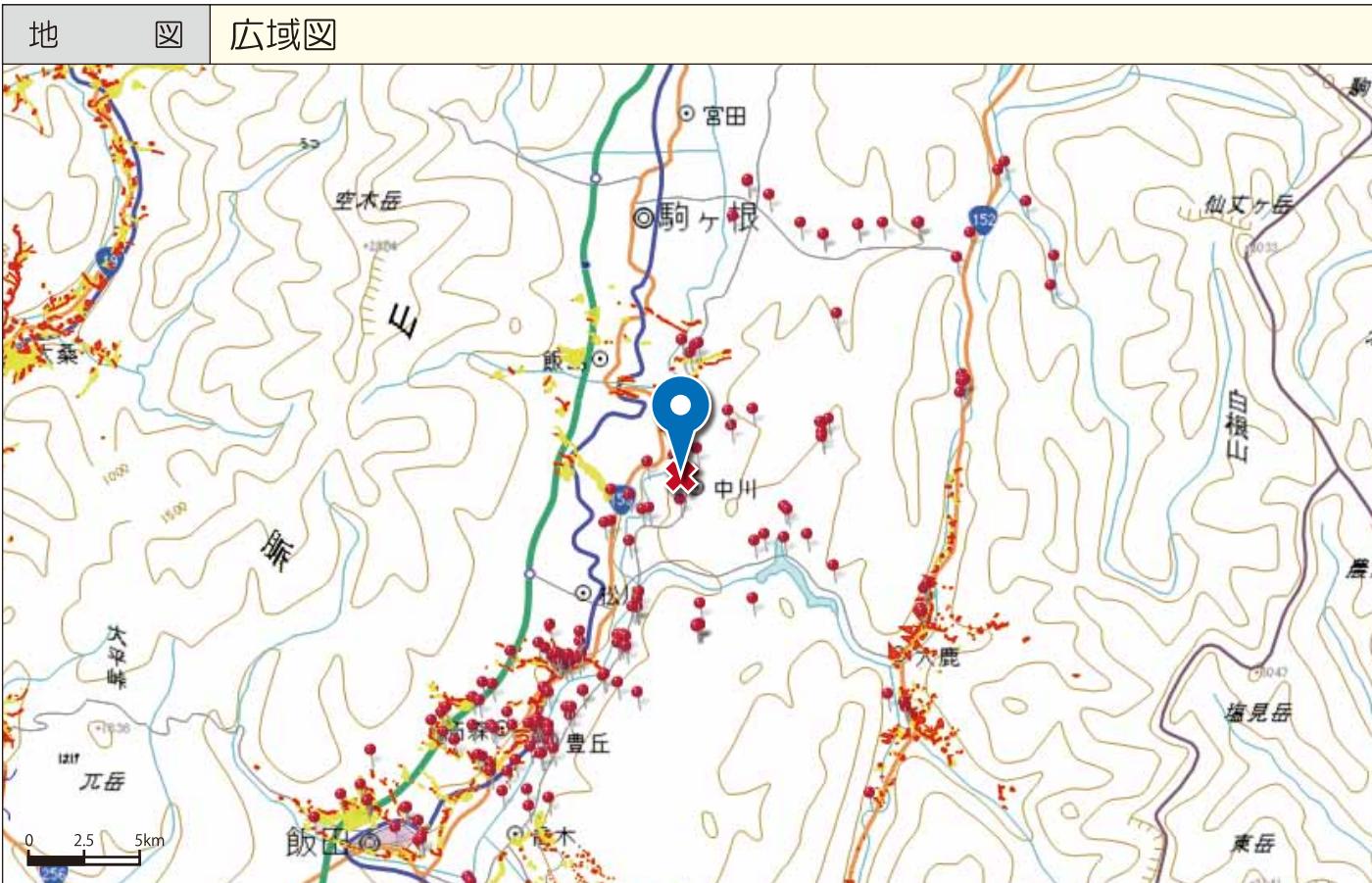


流木と石に覆われた大谷沢流域の大草北組

出 典	「中川村の災害誌」P.9/「濁流のあと」p.85
備 考	概要欄の<      >は編者が補足説明したものです。

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 壱木村 天龍村

No.	12-1-12	場所	中川村大草北組	緯度	35.640836
名 称	流木と石に覆われた大谷沢流域			経度	137.947855



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」(通称：イエローゾーン)といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」(通称：レッドゾーン)といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---